

# 総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、11人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。

★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ



市民の活動を照らす

諸伏 清児 議員

### 伝統芸能の取り組み

**問** 国指定の重要無形文化財である小田原市の中座と厚木市の林座及び長谷座、無形民俗文化財である本市の前鳥座と南足柄市の足柄座について、総合調査が行われているが、調査の目的を伺う。

**社会教育部長** 無形民俗文化財を後世に継承することを目的に、相模人形芝居がある4市の調査を行い、最後に報告書を作成する。

**問** 五座に対しては各市それぞれ支援体制があり、総合調査終了後には支援の底上げもしていくべきと考えるが、見解を伺う。

**社会教育部長** 総合調査終了後には、課題を踏まえ

アプリ「マチイロ」にひらつか議会だよりを掲載しています。



無形民俗文化財 人形浄瑠璃

て、後世に継承できるように努めていきたい。

**問** 本市の人形浄瑠璃は3人遣いの前鳥座と1人遣いの湘南座の全国でも珍しい2団体がある。本市の伝統芸能をより多くの人に知ってもらい、目に触れる機会を作るため、情報発信の強化に取り組むべきと考えるが、いかがか。

**社会教育部長** 市のSNSなどを使いながら、情報発信に努めていく。

**問** 第50回ひらつか民俗芸能まつりが、ひらしん平塚文化芸術ホールで初めて開催されるが、意気込みなどを伺う。

**社会教育部長** 今回は記念

すべき第50回と考えている。これまでの軌跡を紹介する企画なども考えており、早めに周知をし、多くの人に見てもらいたいと考えている。

### 総合体育館のエアコン設置

**問** トッケイセキュリティ平塚総合体育館の第2体育室への空調設備の設置について、工事のスケジュール及び工事中の利用者への対応を伺う。



スマート農業 平塚スタイルの推進

須藤 量久 議員

**問** 令和5年度と6年度は、農業者から直進アシスト機能付きトラクターの要望が多かったが、1台も交付がなかった。7年度は5

台の交付予定があり、農業者と共に歩んでいく姿勢が、今回の制度設計に表れており、非常に感謝している。この姿勢を8年度以降も続けてもらいたいが見解を伺う。

**産業振興部長** 直進アシスト機能付きトラクターの要望が多いことは承知してい

る。ライセンサーは極めて重要であり、本市では農作業受委託組織協議会への一部補助支援のほか、レーザーレベラーなどの農機具や、米の品質を高める色彩選別機などの機器の導入を、積極的に支援している。

**問** 第3体育室は空調設備が整っていないが、設置に向けた考えを伺う。

**都市整備部長** 令和8年度当初予算において空調工事の設計委託料を計上しており、工事費用の積算後に設置時期などについて調整していく。

**このほかの質問** ひらつか版コミュニティバス 小1の壁

**問** 農業者のニーズに沿った制度設計が必要であるため、バランスをしっかりと考えて進めていきたい。

**問** 県内第1位を誇る米どころを守るためにも、ライセンサーへの支援強化や拡充は重要と考える。本市が有する3か所のライセンサーの現状と、受託規模や稼働に必要な資機材の状況について伺う。

**産業振興部長** 3か所のライセンサーが、約140ヘクタールの水田を請負つ



めざせフレイル対策 先進市ひらつか

黒部 栄三 議員

**問** 本市では、フレイル予防の3つの柱である、栄養・運動・社会参加を一体的に推進する取り組みが積極的に進められている。これまでに実施してきたフレイル対策及びオーラルフレイル対策について、成果と課題を伺う。

**健康・こども部長** 生活改善に取り組んだ人の要支援・要介護認定率が低く抑えられた。また、令和4年度から6年度に花水・などしこ地区で実施したオーラルフレイル地域集中啓発では、オーラルフレイルの発症やフレイルの状態の悪化を抑え、介護給付費が抑制される成果が見られた。今後、フレイル予防への関心が高まり、予防意識が広く浸透するように普及啓発を推進していく。

**問** 福岡市では「囃む活FUKUOKA」という取り組みをしており、菓子メーカーと歯科医師会とで連携協定を結び、歯科医院でかむ力を無料で測定している。本市での導入について、見解を伺う。

**健康・こども部長** 保育園や幼稚園を巡回して、口腔チェックや指導を行っている。かむ力のチェックは、親子で参加できるイベントの際に行っており、今後も続けていきたい。

**問** 高齢者の外出の機会の確保は、フレイル予防としても大切である。本市は交

通不便地域や空白地域が多く、早期に解消すべきと思うが、市長の考えを伺う。

**市長** 本市は平塚駅を中心に南北の交通は充実しているが、東西が不便なため、まずは高村に福祉と医療の拠点を作り、コミュニティバスを運行した。また、高齢者が動きやすく、移動しやすい手段の確保として、

デマンド交通を検討していきたい。特に社会参加で人とのつながりを多く持つている高齢者は、健康寿命も長く、活動的になる傾向があるため、フレイル予防としても、移動手段はしっかりと考えていかなければいけない。

**このほかの質問** GIG Aスクール構想スタートから6年、さらに儲かる平塚競輪場をめざして、学校体育施設開放利用の改善について

## 1面掲載写真を募集しています

平塚市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、市内を撮影した四季折々の風景など、本市の魅力あふれる写真を募集しています。

今回は、第242号(令和8年8月7日発行予定)に掲載する写真を募集します。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。か、議会局までお問い合わせください。

(議会局 ☎21-8791)



## 清風クラブ 所属議員



佐藤 貴子 議員



野崎 審也 議員



坂間 正昭 議員



片倉 章博 議員